

9/15 放映の NHK スペシャルにて 人工知能「KIBIT」導入企業の取り組みを紹介

婚活総合支援サービスのパートナーエージェント様による活用の様子を紹介

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）は、2018年9月15日夜に放映されたNHK総合テレビ『NHKスペシャル』において、FRONTEOが独自開発した人工知能エンジン「KIBIT（キビット）」を活用した株式会社パートナーエージェント様の婚活支援サービスが紹介されました。

番組名： NHKスペシャル

「人工知能 天使か悪魔か 2018 未来がわかる その時あなたは…」

<https://www6.nhk.or.jp/special/detail/index.html?aid=20180915>

再放送予定：

NHK総合テレビ 2018年9月19日（水）午前0時40分～1時29分（18日深夜）

番組中では、KIBITが、結婚希望者による「どんな結婚を望むか」「休日の過ごし方」などを記した文章を解析し、使われている単語や使う順番などからその人特有のパターンを見つけ出し、過去結婚に至った1,600組の男女がそれぞれどんなパターンだったかを調べ、よく似たパターンの組み合わせの男女を選び出すことができる、と紹介されました。また、KIBITが人物の隠れた特性を見抜けるAIとして、他の企業でも人事評価や新卒採用に活用されていることも紹介されています。

■KIBITについて

「KIBIT」は人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせ、FRONTEOが独自開発した日本発の人工知能エンジンです。人間の心の「機微」（KIBI）と情報量の単位である「ビット」（BIT）を組み合わせ、「人間の機微を学習できる人工知能」を意味しています。テキストから文章の意味を読み取り、人の暗黙知や感覚を学ぶことで、人に代わって、判断や情報の選び方を再現することができます。

■FRONTEO について URL: <http://www.fronteo.com/>

株式会社FRONTEOは、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行うeディスカバリ（電子証拠開示）や、デジタルフォレンジック調査を支援する企業として2003年8月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View（リット・アイ・ビュー）」、日・中・韓・英の複数言語に対応した「Predictive Coding（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。このリーガル事業で培わ



れ、発展した「KIBIT」を始めとする独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現します。ヘルスケアやビジネスインテリジェンスなどの領域に展開し、FinTechやRegTechに加え、「働き方改革」でも実績をあげています。2007年6月26日東証マザーズ、2013年5月16日NASDAQ上場。資本金2,507,346千円（2018年3月31日現在）。2016年7月1日付けで株式会社UBICより現在の社名に変更しております。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 FRONTEO 広報担当 池内、水口

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com